

葦の葉の命

イギリスの劇作家シェ

ークスピア(一五六四〜一六一六)は、ハムレットに『何と素晴らしい傑作だ、人間というやつは!』と語らせています。人間は愚かでありながら愛しく、やさしく、そして残酷だということです。

これは大人も子供も同じことで、何十年の長い年月生きてきた人でも、欠点というものはなかなか克服(こくふく)努力して困難にうちかつこと、困難をのりこえることしがたく、強い力におもねたり(きげんをとって)その人の気に入るようにする、へつらう、追従する、弱い人に傲慢(ごうまん)高ぶって人をあなどり見くだす態度であること)で『いじめ心』を持つたりすることもあります。そういう『ダメ人間』ではいけない

いと思ひ、自分を叱る。

もし、みなさん自身にもそういう面が思い当たつたら、自分をきびしく叱ってほしいと思います。いわゆる『道徳』として、中学生のみなさんと与えられているテーマの中の一つには、『人間には弱さや醜(みにく)さがあるが、それを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることに喜びを見いだすように努める』とあります。弱さや醜さがあるがそれを克服する強さがあるというのが、何となく好きです。フランスの哲学者で科学者パスカルという人は、『パンセ』という著書の中で、『人間は自然のうちで最も弱い一本の葦(わ)水辺(みづべ)に群生するイネ科の多年草で、秋、ススキに似た大きな穂をつ

け、中空の堅い茎(かたき)です。それなどを作る(こ)にすぎない、しかし、それは考える葦である』と呼びかけています。私たちは本当に弱い一本の葦にすぎないが、何とかして『考える葦』になりたいと願っているのです。もちろん、みなさん一人一人にも、それぞれに『考える葦』になってほしい。

先生方もみなさんも同じ人間です。ご高齢の九十歳になるお母さんをお持ちの先生もいれば、奥さんと三人のお子さんをお持ちの先生もいます。先生方はみなさん、自分のためだけではなく家族のためにも元気で仕事をしなければなりません。同じように、中学生のみなさんにも、お父さん、お母さん、兄弟姉妹などの家族がいることでしょう。みなさんは、自分自身のためにはもちろん、

その人達のためにも、健康で明るく自分自身を成長させなければならぬのです。臨時休業中の話や、最近の事件のニュース記事・報道を聞いてそう思いました。みなさんにとって、世の大人達にとつて

来週の予定:6月29日(月)~7月3日(金)

学校生活のリズムが戻ってきました。委員会活動も始まり、中堅学年の毎日が軌道に乗ってきましたね。

日	曜	行事
29	月	特別時程 時間割通り 1校時:学活 部活動中止
30	火	普通時程 時間割通り 1校時:道徳
7/1	水	普通時程 時間割通り
2	木	普通時程 時間割通り
3	金	普通時程 時間割通り 5・6校時:総合

※ 部活動の下校時刻は、仮入部の一年生が17:00、上級生は17:30完全下校です。また、早朝練習、土日の活動はありません。

わが全身の血をさながらに
波うたせ浴びる如し子は
乳を吸う